

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

98号
2018年7月17日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

国鉄闘争 新たな出発

「働き方改革」資本攻勢に立ち向かおう



解雇撤回、第3の分割・民営化粉碎、改憲と戦争阻止へ団結ガンバロー (7月1日 東京・江戸川区総合文化センター)

国鉄闘争全国運動は7月1日、江戸川区総合文化センターにおいて全国集会を開催し、1500人が参加しました。6月29日に「働き方改革」関連法案の採決が強行されました。7・1集会は、国鉄闘争を先頭に、労働基本権と団結・労組破壊の大資本攻勢と改憲に立ち向かう集会として成功しました。国鉄闘争全国運動呼びかけ人の伊藤晃さんは、「働き方改革」

動労千葉はストで闘う！ 国鉄集会に1500人

労働委員会宛署名
3198筆 (7月17日現在)



「ともに闘う秋田の会」主催で「国鉄1047名解雇撤回！ JRは小玉さんを採用しろ！」総決起集会が6月17日、40人の結集で大成をかちとりました。共同代表の開会あいさつに続き、解雇者当該で小玉忠憲さんがアピール。動労千葉顧問弁護団長・葉山岳夫さんが『国鉄闘争の現状と新たな闘いについて』と題して講演を行い、不当解雇の法的責任はJRにあることが鮮明に提起されました。質疑応答に葉山弁護士が熱心に応答しつつ固い団結がつけられました。

「秋田・星野文昭さんを取り戻す会」共同代表、イージスア

ともに闘う秋田の会が集会

JR秋田支社に解雇撤回の申し入れ行動

「ともに闘う秋田の会」主催で「国鉄1047名解雇撤回！ JRは小玉さんを採用しろ！」総決起集会が6月17日、40人の結集で大成をかちとりました。共同代表の開会あいさつに続き、解雇者当該で小玉忠憲さんがアピール。動労千葉顧問弁護団長・葉山岳夫さんが『国鉄闘争の現状と新たな闘いについて』と題して講演を行い、不当解雇の法的責任はJRにあることが鮮明に提起されました。質疑応答に葉山弁護士が熱心に応答しつつ固い団結がつけられました。

シヨア基地建設に反対する市民、全金本山労組の鈴木委員長が連帯あいさつを行いました。動労総連合・各単組からの決意では、動労水戸からのメッセージ紹介に続き、動労福島・橋本光一委員長が「戦争と改憲を労組側から進めようとする『産業報国会』型の運動を打倒していく旗がついに立った。この闘いを見て青年は必ず立ち上がる」と訴えました。宮城県支部長の金子哲夫さんは「JRはブラックそのもの、口先で安全を言い帰還と被曝を強制する常磐線開通、青年を過労死に追い込み戦争と改憲の尖兵」「希望の星、組合員である当該と一体で闘う」。

(裏面に続く)

さらに国鉄1047名解雇撤回の新たな闘いとして労働委員会闘争の開始を宣言しました。31年に及ぶ闘いは、ついに真実を暴き出し、不当解雇の責任がJRにあることを明らかにしました。これからは本場の闘いです。戦後最大の労組破壊と改憲攻撃であった国鉄分割・民営化に対して新たな闘いが具体的な運動方針をもって再スタートを切った意義は決して小さくありません。韓国鉄道労組ソウル本部のパクソンス本部長は、「ろうそく革命も当初は誰もここまで発展するとは思っていなかった。日本でも必ず労働運動は復権する」と力強い連帯を示しました。

「働き方改革」戦後最大規模の一大資本攻勢がJRを頂点にすでに開始されています。古今東西の歴史をみても、激しい資本攻勢と階級支配の動揺と戦争の時代は、労働運動が再生する時代です。7・1集会を通して、国鉄闘争を先頭に、さらには第3の分割・民営化を打ち破る動労千葉の反合理化・運転保安闘争を切っ先に新しい労働運動を切り開く情勢の到来と捉えることができました。7・1集会の成功の背景には、なんといっても現場闘争・職場闘争がありました。階級情勢を転換し動かすことは可能です。それを自覚させた集会でした。改めて国鉄・JR4大産別を先頭に、そしてあらゆる職場・地域から新たな労働運動と改憲阻止の闘いをつくりだす。これで勝負しよう。(事務局)

職場から改憲阻止
集会の後半、職場からの闘いとして、全国の教育労働者・自治体労働者が登壇しました。国鉄闘争全国運動呼びかけ人の根津公子さんの闘いは必ず始まるという確信に満ちた発言に続き、広島や奈良、神奈川における教育労働者の発言は、現場

「働き方改革」戦後最大規模の一大資本攻勢がJRを頂点にすでに開始されています。古今東西の歴史をみても、激しい資本攻勢と階級支配の動揺と戦争の時代は、労働運動が再生する時代です。7・1集会を通して、国鉄闘争を先頭に、さらには第3の分割・民営化を打ち破る動労千葉の反合理化・運転保安闘争を切っ先に新しい労働運動を切り開く情勢の到来と捉えることができました。7・1集会の成功の背景には、なんといっても現場闘争・職場闘争がありました。階級情勢を転換し動かすことは可能です。それを自覚させた集会でした。改めて国鉄・JR4大産別を先頭に、そしてあらゆる職場・地域から新たな労働運動と改憲阻止の闘いをつくりだす。これで勝負しよう。(事務局)

85年の原点に立ち戻る

動労千葉支援する会が総会

動労千葉を支援する会は7月14日、2018年度定期全国総会を開催した。



動労千葉を支援する会総会

時は、真つ先に駆けつけ、ストライキの報告と意義を伝えるニュースなどのビラを全国のJR職場の労働者に持ち込むなどの方針を確認した。

地域や職場からの発言として「会員の職場が韓国や米国と同じ状況にある。労働者の怒りを離れて組織はできない」「通勤がないから住宅手当なし」はおかしいと、妥結したJP労組に現場組合員の怒りが爆発している「動労千葉の話は、自分の職場のことを聞いているようにもう一度、支援する会から始めたい」「動労千葉と連帯しながら日本の労働運動に責任を取る考え方をつくってきた」

最後に設立の原点を立ち戻り、国鉄闘争を軸に改憲阻止の進行運動を支援する会が牽引することを訴えた。

「伊藤晃(国鉄闘争全国運動呼びかけ人)いま支配集団は労働運動によって封じられてきた野望を実現しようと「働き方改革」と称して労働者の生活・権利・団結を破壊しようとしている。明らかに改憲の一環です。われわれの反改憲闘争はここまで視野を広げなければならぬ。」

労働委員会闘争を労働運動として

これに対して私たちは多くの闘いを進めている。すべての現場でこの法を押し返す闘争に入ろう。これを機に労働者は改憲反対の主力として力を再結集できると私は信じます。

5月28日、千葉県労働委員会に不当労働行為救済申立書を提出しました。最高裁決定で採用候補者名簿への不採用基準が組合差別の不当労働行為だと確定しました。

この採用基準は1987年2月2日、葛西敬之職員局長、井手正敬総裁室長が斎藤英四郎・設立委員会委員長が談合して取り決め、葛西が当時の部下で現JR東の社長の深沢祐二に指示し採用候補者名簿から削除しました。

この基準は2月12日、設立委員会全体の会合で決議された。国鉄当局のみならず設立委員会全体が不当労働行為の下手人になったわけです。

「中村仁(動労千葉争議団)私たちは不当に差別されて採用されなかったけれど支援してくれる全国の仲間と会えて、労働運動のことも、人間と人間の関係のことも話げできた。全国の人たちが職場で苦闘し「動労千葉ががんばっているから一緒に」と言ってくれる。すごくありがたいと思っています。だからやっぱり解雇撤回をかちとらないといけないと思います。中曽根の野望を安倍が貫徹し

7.31千葉地労委に大結集を

7月31日、1047名解雇撤回・団交開催を求めて千葉県労働委員会へ申し立てた不当労働行為事件の第1回調査が行われます。

「国鉄闘争の旗を改憲阻止の先頭に」の決意で新たな闘いに

「表面からの続き」
動労新潟・星野文男委員長は「6月29日に『1047協議会と共に闘う会』が結成される」「国鉄闘争は星野文昭さんを取り戻す闘いと一体だ」と力強く表明しました。

集会は、共同代表の閉会あきいつでお礼を述べ、小玉さんが翌日の秋田支社行動を総力で闘

「働き方改革」は、全社会に労働運動再建の無数のきっかけを与えています。「働き方改革」は憲法27条、28条改悪の先取りですが、その「働き方改革」がまたあらゆる企業・職場で実質的に先取りされている。JRで進む乗務員勤務制度の改悪もそうです。

5月28日、千葉県労働委員会に不当労働行為救済申立書を提出しました。最高裁決定で採用候補者名簿への不採用基準が組合差別の不当労働行為だと確定しました。

この採用基準は1987年2月2日、葛西敬之職員局長、井手正敬総裁室長が斎藤英四郎・設立委員会委員長が談合して取り決め、葛西が当時の部下で現JR東の社長の深沢祐二に指示し採用候補者名簿から削除しました。

この基準は2月12日、設立委員会全体の会合で決議された。国鉄当局のみならず設立委員会全体が不当労働行為の下手人になったわけです。

「中村仁(動労千葉争議団)私たちは不当に差別されて採用されなかったけれど支援してくれる全国の仲間と会えて、労働運動のことも、人間と人間の関係のことも話げできた。全国の人たちが職場で苦闘し「動労千葉ががんばっているから一緒に」と言ってくれる。すごくありがたいと思っています。だからやっぱり解雇撤回をかちとらないといけないと思います。中曽根の野望を安倍が貫徹し

7.31千葉地労委に大結集を

7月31日、1047名解雇撤回・団交開催を求めて千葉県労働委員会へ申し立てた不当労働行為事件の第1回調査が行われます。

「国鉄闘争の旗を改憲阻止の先頭に」の決意で新たな闘いに

「表面からの続き」
動労新潟・星野文男委員長は「6月29日に『1047協議会と共に闘う会』が結成される」「国鉄闘争は星野文昭さんを取り戻す闘いと一体だ」と力強く表明しました。

集会は、共同代表の閉会あきいつでお礼を述べ、小玉さんが翌日の秋田支社行動を総力で闘

「働き方改革」は、全社会に労働運動再建の無数のきっかけを与えています。「働き方改革」は憲法27条、28条改悪の先取りですが、その「働き方改革」がまたあらゆる企業・職場で実質的に先取りされている。JRで進む乗務員勤務制度の改悪もそうです。

5月28日、千葉県労働委員会に不当労働行為救済申立書を提出しました。最高裁決定で採用候補者名簿への不採用基準が組合差別の不当労働行為だと確定しました。

この採用基準は1987年2月2日、葛西敬之職員局長、井手正敬総裁室長が斎藤英四郎・設立委員会委員長が談合して取り決め、葛西が当時の部下で現JR東の社長の深沢祐二に指示し採用候補者名簿から削除しました。

この基準は2月12日、設立委員会全体の会合で決議された。国鉄当局のみならず設立委員会全体が不当労働行為の下手人になったわけです。

「中村仁(動労千葉争議団)私たちは不当に差別されて採用されなかったけれど支援してくれる全国の仲間と会えて、労働運動のことも、人間と人間の関係のことも話げできた。全国の人たちが職場で苦闘し「動労千葉ががんばっているから一緒に」と言ってくれる。すごくありがたいと思っています。だからやっぱり解雇撤回をかちとらないといけないと思います。中曽根の野望を安倍が貫徹し



7.1 全国集会

「河野晃興(国鉄闘争全国運動呼びかけ人)自分総連SKさくら交通労働組合は6月5日、正社員3名の24時間ストを闘いました。職場では7割を占める非正規社員のために正社員がストをやるのかと衝撃をもって受け止められました。」

全国運動・北海道は署名運動を開始しています。今こそ動労総連合・北海道を建設する時だと思います。

「根津公子(日の丸・君が代)不起立被処分者/国鉄闘争全国運動呼びかけ人戦争に突っ走る教育を安倍内閣がやっていますから、私たち教員・元教員はしっかりと向き

ようとしている。われわれが絶対反対で闘おう。

「小玉忠憲(動労総連合1047協議会)国鉄分割・民営化から31年になりました。なぜ私がJR不採用なのか。上司、課長、局長、誰に聞いても「分かりません」。これで解雇、ふざけるな!この過程がいに明らかになった。JRに責任があることが確定した。

7.31千葉地労委に大結集を

7月31日、1047名解雇撤回・団交開催を求めて千葉県労働委員会へ申し立てた不当労働行為事件の第1回調査が行われます。

「国鉄闘争の旗を改憲阻止の先頭に」の決意で新たな闘いに

「表面からの続き」
動労新潟・星野文男委員長は「6月29日に『1047協議会と共に闘う会』が結成される」「国鉄闘争は星野文昭さんを取り戻す闘いと一体だ」と力強く表明しました。

集会は、共同代表の閉会あきいつでお礼を述べ、小玉さんが翌日の秋田支社行動を総力で闘

今年から道徳が教科化され、2年前からオリンピック・パラリンピックで国家主義・愛国主義の刷り込みが週2時間も行われている。皆さんも、保護者・市民として学校に声を届けて下さい。私も退職した教員の一人として戦争に通じる教育をさせないためにがんばりたい。

「宇都宮理(愛媛県職員労働組合委員長)国鉄闘争全国運動呼びかけ人72年前、多くの自治体に労働組合が結成されました。憲法が公布された時期です。自治体労働者も平和な行政・福祉をする決意で72年間やってきました。9条明文改憲は到底認めることはできません。国会発議・国民投票は、それ自体が労働組合に対する攻撃になります。

愛媛でも多くの労働者、県民と団結して明文改憲を許さない取り組みをがんばっています。取組をがんばっています。愛媛には伊方原発があります。毎週の日曜行動、1週も仲間が引き継いでいます。廃炉までがんばります。

最高裁決定に従わない会社がJR。団体交渉にも応じない。実力闘争しかない。民主労総のようにゼネストのできる労働組合をつくらう。

6月17日に秋田で40人の総決起集会を開催しました。30年間、支社の敷地に入ることができませんでした。しかし20人で敷地内に入って「判決に従わないお前たちが不当だ。新たな不当労働行為をやめろ」と堂々と申入書を読み上げました。